

# 11月の歳時記

## 家庭のぬくもりそのままにケアホームさくら荘

### 雑学・豆知識

七五三・・・子供の健やかな成長を祝うため、数え年で3歳・5歳の男子、3歳・7歳の女の子に晴れ着を着せ、神社に詣でる行事です。

七五三の歴史・・・元々は公家や武家などで行われた儀式で、剃っていた髪を3歳で伸ばし始める「髪置きの儀」、5歳になった男子が初めて着る「袴着の儀」、7歳になった女子が帯を締め始める「帯解の儀」という単独のものでした。江戸中期、呉服屋が3つの行事をまとめて「七五三」と宣伝したのが流行し、現在の形へと変化しました。

立冬・・・日脚が次第に短くなり、冬の気配を感じられるようになるころ。暦の上ではこの日から立春の前日までが冬とされています。

小雪・・・わずかながら雪が降り始め、本格的な冬の到来を感じる頃です。冬の備えを整え、お歳暮の準備をする目安とされています

● 有限会社 聖 ●  
TEL 65-6300  
FAX 65-6301  
宮崎市本郷北方 2708

\*広報誌のご意見をお待ちしています。

### このひと・・・紹介



高松俊子さんは大正14年10月23日、文教都市宮崎市清武町生まれの90歳である。幼少期の頃、夏場は家の近くを流れる清武川で水遊びを楽しんだり、鬼ごっこや毬つきを楽しんだりと活発な少女だった。戦前に中国に行くことになり少女だった高松さんは「いったいどこまで連れて行かれるのだろうか」と不安だったと語る。中国の首都北京に着くと見た光景が日本と違い、車みたいな動力車が街中を走って

いたり、人の行き来の多さにとても驚いたそうだ。北京市内の女学校に進んだ時ある問題があった。それは言葉の違い。当時は日本が占領し植民地となった地域もあったそうだが、一部中国語を話す人もいて最初は何を話しているのかが分からなかったそうだ。そこで中国語を猛勉強し日常会話程度まで話せるようになった。そんな苦難を乗り越えて女学校を卒業し再び宮崎に帰郷し宮崎市役所で経理として勤める。当時はもちろんパソコンや電卓など電子機器がない時代。高松さんは手書きで収支表作成や財務諸表の作成をしたり、そろばんを使いながら預金管理や経費精算などを行っていた。一番辛かったことは「月末の計算が合わなかったことかな。計算が合うまでは帰れなかったよ。」と話す。その後は福岡に移り福岡市内の役所で再び経理として勤める。ある時月末の精算でお手柄をしたことがある。課は思い出せないそうだが計算が合わず係長クラスの人に問い詰めたところ、なんと役所のお金を使って豪遊していたことが発覚したそうだ。お手柄をしたことにより役所中に広まり、一躍時の人となったそうだ。役所を退職した後は八百屋さんで青果物の販売や図書館で事務職など様々な仕事に就かれた。人生の中で一番の思い出の旅行をしたことがある。それは戦前に過ごした中国に行き、高松さんの友達を集めて馬に乗って中国大陸横断の旅をしたことだ。福岡の門司港から中国・満州行きに船に乗っている間は楽しみで「どんな旅になるだろう」とわくわくしていたそうだ。そして中国横断の旅が満州からスタートした。最初は相棒の馬が言うこと聞いてくれなくて暴れて大変だったけど、徐々にスキンシップを図るように心がけたら言うこと聞いてくれて最高の馬に育てたみたいだと話す。旅の道中、北京である有名人と遭遇した。女優や歌手、政治家など多方面で活躍された李香蘭(後の山口淑子)さんだ。馬に乗って旅をしていることを話したら「壮大な旅をされているのですね。ぜひ頑張ってください。素晴らしい旅になることを祈ります。」と激励の言葉を頂き、とても嬉しかったと話す。約2か月半に及んだ旅は最終目的地・西安にたどり着いた瞬間、皆で抱き合い中には涙を流す人もいた。現在はさくら荘で生活され週2回のデイサービスを利用されている。デイでの楽しみは塗り絵やちぎり絵をすることだそう。絵を見るととても丁寧で細かい部分も綺麗に描けている。几帳面なところは誰にも負けない高松さんである。



**ハロウィーンとは?**  
キリスト教諸聖人の日の前夜祭にあたる All Hallow's eve が訛って Halloween (ハロウィン) と呼ばれるようになったようです。秋の収穫を祝って悪霊を追い出す祭りです。子供たちが近所を回り『ハロウィーン!!』と言ってお菓子を貰うのが伝統になっているようです。 \* 諸説ありま

# ようこそ 陽だまりへ!



# HAPPY HALLOWEEN!

2015  
11月号

● 有限会社 聖 ●  
住宅型有料老人ホーム ケアタウン飛鳥  
住宅型有料老人ホーム ケアホームさくら荘  
デイサービス 陽だまり  
ケアセンターさくら (訪問介護)  
ケアサポートセンター ひじり (居宅介護事業所)  
訪問看護ステーション 翔

# ハッピー ハロウィーン 2015!



衣装大賞は誰?!  
(〇) /



ボクはみつばちかいたよ (#. #)



絵合わせするよ~



よ~く  
見ているね

赤あげて♪



季節が秋から冬へ移り変わります。皆様インフルエンザの予防接種はお済ですか? 嘔吐下痢症等もやる時期になりました。一番の予防は手洗いがいいです。十一月も元気で!



**スタッフの制服が変わりました!**  
 ■十月より新しい制服に変わりました。上ポロシャツがネイビー、グレースの2色になります。  
 ■今年もいつの間にか十一月である。テイでは来年の干支作りがはじまっている。来年は申年である。女性利用者のTさん。制作中こんなことを言っていた。「お猿さんって何て鳴くの」の質問。スタッフのNさん「ウキーじゃないの」スタッフS君「キキーじゃない」正解は「キヤッキャッ」だぞつだ。「ウキー」は諸説ではあるが、アメリカのアニメの中のキャラクターが鳴いたのがきっかけだぞつだ。

# あなたの夢 叶えます! By 飛桜祭

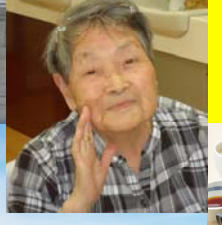
椎葉様  
伊勢海老が食べたい!



飛桜祭の抽選にて上位3位までの方に『あなたの夢を叶えます』との景品がありました。10月13~16日に、それぞれの夢を実現いたしました!

磯料理 星倉

田中様  
故郷の高岡に行きたい!  
高岡温泉に入って、美味しい食事をしたい!



夢



カラオケBOX コロケ

高岩様  
カラオケで  
思う存分歌いたい!



高岡温泉

## 10月度 誕生会



ボランティア団体宮崎あすなろ会による腹話術、フラダンス、津軽三味線、マジックショーを披露してくれました。

■秋も深まり紅葉のシーズンとなった。北海道にある大雪山系では十月の初めにもみじが色づき始め一面真っ赤の絨毯が広がった。さらに平年より3日早い初雪も観測され雪と紅葉がコラボレーションした。男性利用者のKさんは、昔社員旅行で京都に行き、嵐山のみじを見たときに感動し、またいつか訪れたいと、話されていた。

**十月のテイサービスを盛り!**  
 ■十月十七日は陽だまり主催のバーベキュー。綺麗に晴れた秋空の元、利用者の皆さん美味そうに食べていた。利用者のJさん「宮崎牛最高!」と笑顔だった。  
 ■十月二十三日はおやつ作りでした。さつまいもで黒糖ふくれ菓子、ちりめんじゃこ煎餅をつくりました。蒸かす時間は四十分ほどあるので、その間に煎餅作り。ホットプレートで火傷しないよう気を付けながら薄く押し焼きして香ばしい煎餅のできあがりでした。蒸かす鍋が気になり何度も蓋を開けてしまったりと、笑顔いっぱいのおやつ作りでした。  
 ■十月三十一日はハロウィーン。今月の目玉の行事とあって、スタッフも気合をいれて衣装をしました。小さなお子様もミツバチに仮装したり、利用者の皆様もノリノリで魔女帽を被ったり、かつらをつけたり、猫耳つけました。脳トシを用いた絵合わせ、赤白旗揚げ、マジックショー、テレビゲームを用いたボーリングをスタンプリー方式で楽しみました。テレビ